

JVCKENWOOD

第16期 中間株主通信

2023.4.1 ▶ 2023.9.30

証券コード：6632



変革と成長
Change for Growth

株式会社 JVCケンウッド

株主の皆様へ



代表取締役 社長執行役員
最高経営責任者 (CEO)

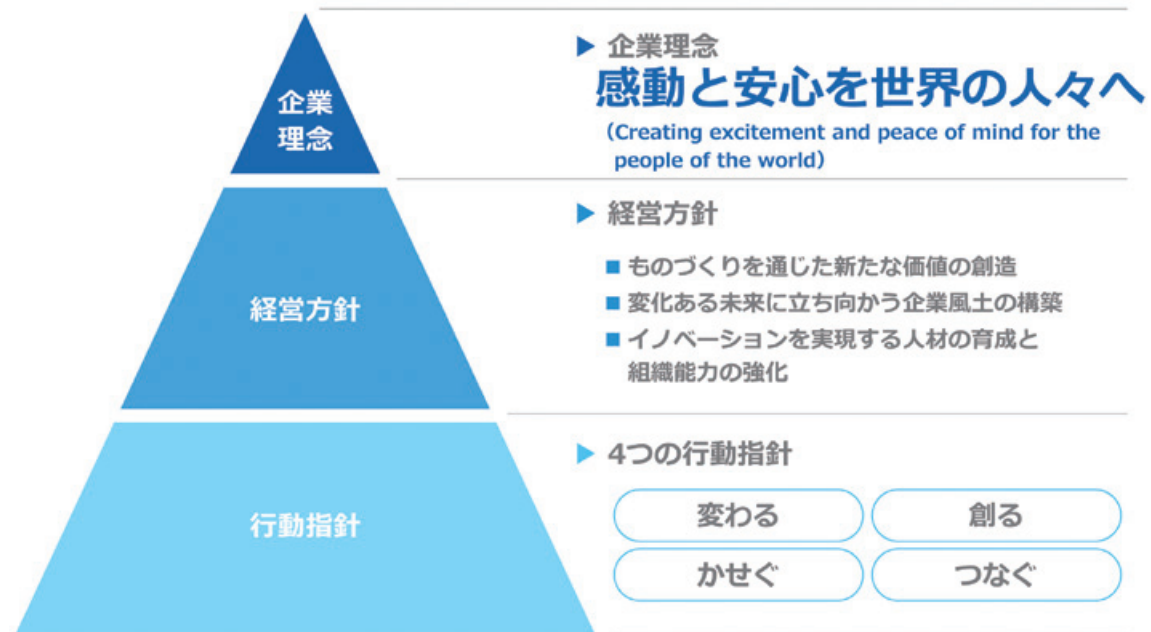
江口 祥一郎

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2008年の日本ビクターとケンウッドの経営統合後における最高益を更新した2023年3月期を経て、「変革と成長」を基本戦略とし中長期的な価値創造を目指した中期経営計画「VISION2025」を策定しました。近年は、上海ロックダウンやウクライナ侵攻の影響、インフラコストや原材料価格の高騰などの厳しい経営環境が重なりましたが、当社グループは、部品供給問題への迅速な対応、設計変更や代替部品の活用により、サプライチェーンを正常化させ収益改善につなげることができました。今後も地政学リスクの増大、エネルギーコストの上昇、世界情勢の緊迫化など、不確実性に満ちた変化の激しい市場が想定される中、直面するリスクと機会を適切にマネージし、現状に甘んじることなく、さらなる「変革と成長」に向けて取り組んでいきます。

また、2023年度は「VISION2025」の策定に合わせ、「感動と安心を世界の人々へ」を企業理念として定款に規定し、当社グループの行動の原点として共有することで、目指す姿とビジネスモデルとの関係性をより一層深めています。当社グループは、中長期的な価値創造と目指す姿の実現に向けて、投資家をはじめとするステークホルダーの皆様との対話を重ねながら、さらに「魅力あるJVCケンウッド」へ変貌していきます。

今後とも引き続き、株主の皆様のご理解と変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2024年3月期 第2四半期(累計)業績について

無線システム事業が前期に引き続き非常に好調な販売が継続したことなどから、全社で大幅な増益となりました。

(単位：億円)

	2023年3月期 第2四半期累計	2024年3月期 第2四半期累計	前年同期比
売上収益	1,581	1,747	+166
売上原価	1,145	1,217	+72
売上総利益	436	530	+94
事業利益※	59	105	+46
営業利益	58	98	+40
税引前四半期利益	58	97	+40
親会社の所有者に帰属する四半期利益	37	68	+31

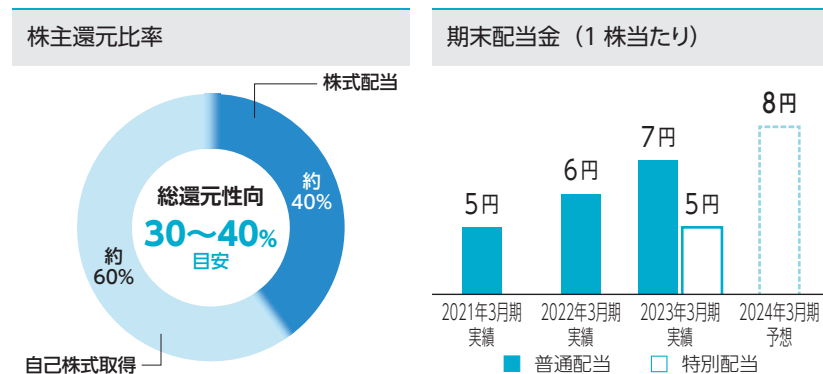
※売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなるその他の収益、その他の費用、為替差損益などを含まない。当期より従来の「コア営業利益」から「事業利益」に名称変更。

株主還元方針について

当社は、株主還元の指針を従来の配当性向から総還元性向に変更し、その目安を30～40%と定めました。当面は、総還元額のうち60%程度を自己株式の取得に、40%程度を配当に充て、さらなる資本効率の向上と株主還元を図っていきます。

この方針に沿って、当社は、2023年度に総額約65億円規模の自己株式取得をしました。

また、配当は安定的な配当、かつ、継続的な増配を目指し、2023年度の普通配当は年間8円を予定しています。

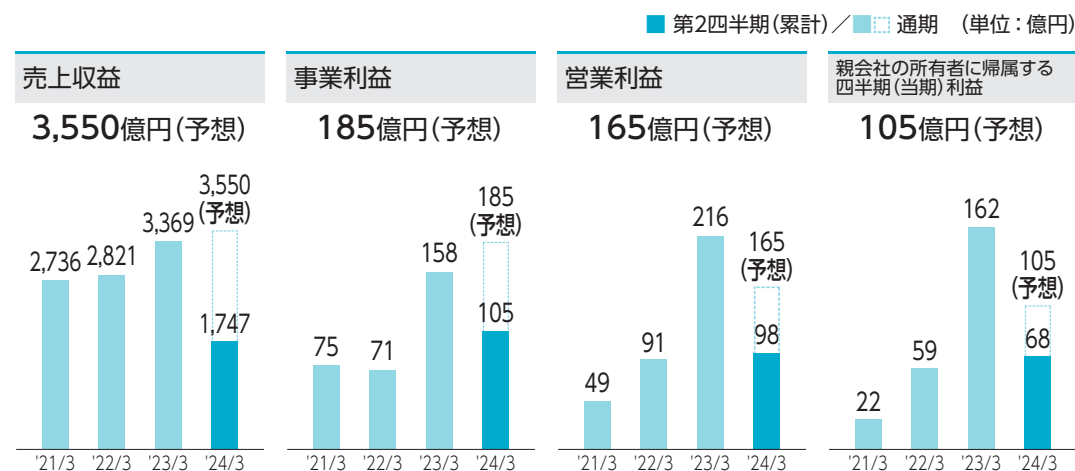


2024年3月期 通期連結業績予想の上方修正について

2024年3月期は、第3四半期以降も、防災・セキュリティ対策として無線システムの堅調な需要が見込まれ、全社の売上収益および事業利益などが期初の想定を上回る見込みであることから、2023年10月31日付で業績予想を上方修正しました。

2024年3月期 通期連結業績予想の修正 (2023年4月1日から2024年3月31日まで) (単位：億円)

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A) (2023年4月27日発表)	3,500	148	134	124	80	51 ^円 14 ^銭
今回修正予想 (B) (2023年10月31日発表)	3,550	185	165	155	105	67 ^円 97 ^銭
増減額 (B-A)	+50	+37	+31	+31	+25	
増減率	1.4%	25.0%	23.1%	25.0%	31.3%	
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	3,369	158	216	212	162	99 ^円 27 ^銭



中期経営計画「VISION2025」の進捗について

ものづくり改革

当社グループは、前中期経営計画「VISION2023」から継続して「ものづくり改革」を進め、自動化推進、国内生産回帰、サプライヤエコシステム構築などを軸に、総生産量・総工数に見合った生産拠点の最適化を図っています。その取り組みの一環である国内生産回帰では、地産地消型の生産モデル実現への挑戦を早期に意思決定し、経営資産の高度化を目指して生産の自動化を推進してきた結果、2023年9月に中国(上海)での生産活動を予定どおり終了いたしました。

当社グループは、引き続きスピード感をもって生産拠点の再編を進め、「設計環境が標準化され、どの分野の製品も設計可能」で「拠点到依存しない、どの分野の製品も生産可能」なもののづくりを目指し、企業価値の最大化へつなげていきます。

時期	内容	地政学 リスク 対応	為替 対策	SCM 最適化	セキュ リティ 強化	国内 回帰	効率化/ 自動化	SDGs/ ESG
2022年 2月	国内向け市販カーナビゲーションシステムの生産移管(インドネシア→長野)	●	●	●	●	●	●	●
2022年 3月	プロジェクトアの生産移管(タイJKET*1→横須賀)	●	●	●	●	●	●	●
2022年 3月	業務用カメラの生産移管(タイJKET→タイJKOT*2)とJKETの生産活動終了	●		●			●	●
2022年 4月	SCM改革推進部を設置 ⇒2023年10月SCM部に改組	●	●	●			●	
2022年10月	「Value Creation Square」創設と八王子事業所の土地売却を発表						●	●
2022年11月	国内向け用品カーナビゲーションシステムの生産移管開始(上海SKE*3→長野)	●	●	●	●	●	●	●
2023年 3月	モビリティ&テレマティクスサービス分野の開発機能移管とシンガポール開発拠点JKTS*4閉鎖					●	●	
2023年 9月	上海の生産拠点(SKE)の生産活動終了	●	●	●	●	●	●	●

※1: JVCKENWOOD Electronics(Thailand) Co., Ltd.

※2: JVCKENWOOD Optical Electronics(Thailand) Co., Ltd.

※3: Shanghai Kenwood Electronics Co. Ltd.

※4: JVCKENWOOD Technologies Singapore Pte. Ltd.

働き甲斐のある職場づくり

「VISION2025」では、戦略的な人事施策として「イノベーションを実現する人材の育成と組織能力の強化」および「経営戦略と人材戦略の連動」により、事業計画を実現するための人的資本の強化を積極的に推進しています。

また、大きな全社テーマとして「働き甲斐のある職場づくり」のスローガンのもと、本社・横浜地区に新たな価値創造の拠点となる「Value Creation Square」を創設します。2024年度下期の稼働に向けて、働き方改革を深化させます。具体的には、首都圏にあるオフィスの整備、再配置に合わせて、オフィス勤務とテレワーク/モバイルワークを併用した「ハイブリッドワーク」を実現し、多様な働き方を実現できる職場環境と制度整備を行うことにより、イノベーションを実現します。



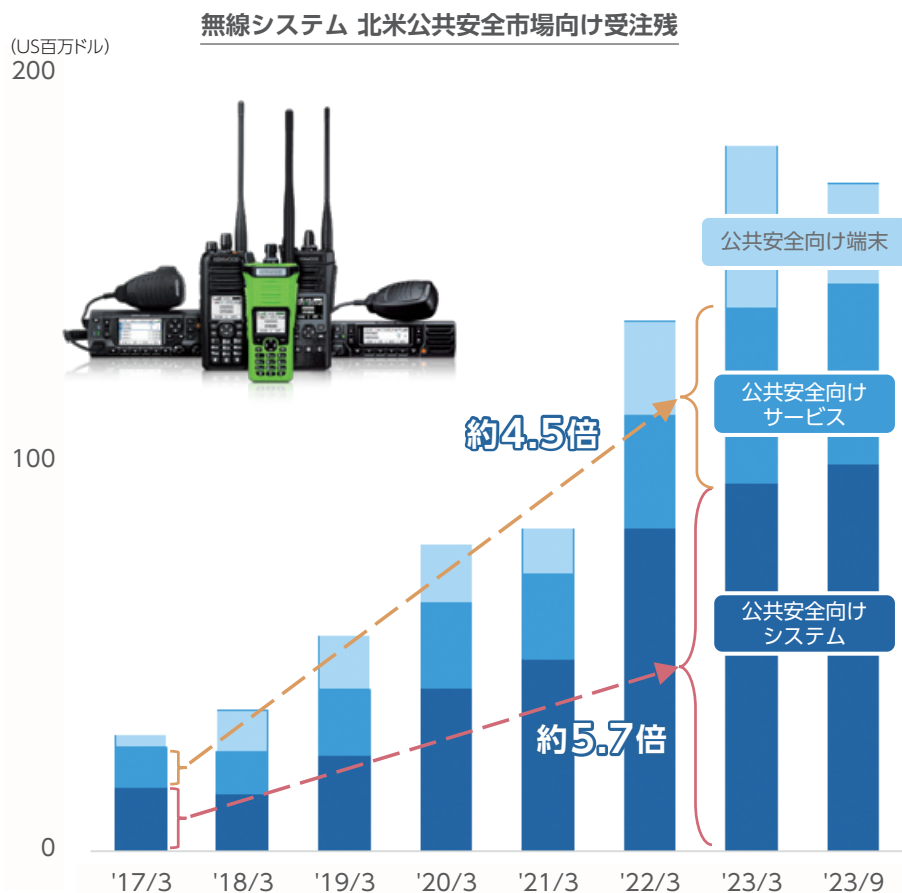
「Value Creation Square」完成予想図(2024年夏完成予定)

中期経営計画「VISION2025」 変革と成長

好調な無線システム事業

北米公共安全市場向け受注残の増加

北米無線システム事業は、世界情勢がますます緊迫化する中、危機管理気運の高まりにより、さらにシステムおよびサービスの受注残が増加しており、中長期的な売上の確保が見込まれています。



VP8000がデザインでも評価

米国の国際的デザイン賞「IDEA 2023 (International Design Excellence Awards)」において、北米向けに展開しているトライバンド対応P25デジタル無線機「VP8000」が、ファイナリストに選定されました。過酷な環境下でも確実に操作できる堅牢性、信頼性、高音質を備えるとともに人間工学を両立したデザインが評価されたものです。



トライバンド対応
P25デジタル無線機
VP8000

米国デラウェア郡受注案件の起工式開催

2022年に米国無線子会社のEF Johnson Technologies, Inc.が受注した米国ペンシルバニア州デラウェア郡デジタル無線システムの起工式が2023年10月5日に開催されました。



起工式の模様を動画で公開しておりますので、下記URLよりご覧ください。
【「P25」対応業務用デジタル無線システム起工式】
<https://www.youtube.com/watch?v=d7UPJY7-KxA>



Topics

KENWOOD

デジタルルームミラー型
ドライブレコーダー“ミラレコ”
[DRV-EM4800]
(2023年9月発売)



大画面12V型IPS液晶を採用したデジタルルームミラーを搭載する前後撮影対応2カメラドライブレコーダー。ドライブレコーダーとして前方・後方の走行映像の録画を行うとともに、デジタルルームミラーとしてリアカメラで撮影する映像をリアルタイムに高画質で大画面に映し出し、荷物や車体などで生じる死角が少なく、広い視界で後方確認が可能です。

KENWOOD

アマチュア無線ハンドイトランシーバー
[TH-D75]
(2024年1月発売)

先代機である[TH-D74]からさらに進化したハンドィタイプの最上位モデル144/430MHzデュアルバンダー[TH-D75]は、D-STAR[®]*1 信号の2波同時受信、リフレクターにアクセスするためのリフレクター・ターミナルモード、ボイスガイダンスの強化、デジピーター機能の追加などにより、最上位モデルとしてより多くのアマチュア無線運用に応えます。



「ウッドコーンスピーカー」搭載
コンパクトコンポーネントシステム
[EX-DM10]
(2023年11月発売)

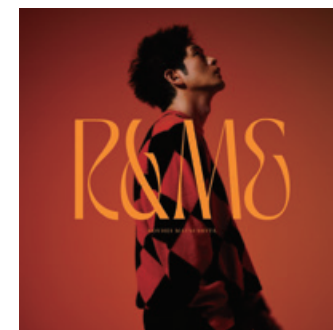


振動板に“木”を採用した当社独自のオーディオシステム新商品。幅34cmのコンパクトな一体型システムに、新開発の6cmフルレンジ「ウッドコーンスピーカー」を搭載。スピーカーの振動板には従来のカバ材、センターキャップに新たにチェリー材を採用し、自然で美しい響きと豊かな音楽空間を実現。Bluetooth[®]*2 コーデックは高音質・低遅延なaptX HD/LLにも対応。ワイヤレス再生やラジオ、USBメモリーでの録音・再生など手軽に高品位サウンドを楽しめます。



松下洸平2枚目のアルバム
[R&ME] (2023年12月13日発売)

自身のルーツと公言するR&Bへのリスペクトを込めた1枚です。収録楽曲にはR&Bをストレートに表現した楽曲もありながら、ジャンルに留まらない多彩な一曲一曲に松下独自のR&Bのエッセンスが落とし込まれており、1枚を通して今の松下洸平が思い描く「音楽と自分」を存分に表現した作品となっています。VICTOR ONLINE STORE限定で、「R&ME」通常盤とCDパッケージをミニチュア化したデザインのキーホルダーとのセット商品も販売(数量限定)します。
[VICTOR ONLINE STOREはこちらから] <https://victor-store.jp>



[R&ME]



※1 D-STAR[®]は一般社団法人日本アマチュア無線連盟の商標登録です。

※2 Bluetooth[®]ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。株式会社JVCケンウッドは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

会社概要

商号	株式会社JVCケンウッド (英文名: JVCKENWOOD Corporation)		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モビリティ&テレマティクスサービス分野 ・セーフティ&セキュリティ分野 ・エンタテインメント ソリューションズ分野 上記の事業等を営むこと、ならびにこれに相当する事業を営む会社の株式または持分を保有することによる当該会社の事業活動の管理		
代表者	代表取締役 社長執行役員 最高経営責任者 (CEO) 江口 祥一郎		
設立	2008年10月1日		
資本金	136.5億円*		
従業員数(連結)	16,277名*		
決算日	3月31日		
本社所在地	〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地		



本社・横浜事業所

※2023年3月31日現在

役員

岩田 眞二郎	社外取締役	取締役会議長	
江口 祥一郎	代表取締役	社長執行役員 最高経営責任者 (CEO)	
野村 昌雄	代表取締役	専務執行役員	モビリティ&テレマティクスサービス分野責任者
宮本 昌俊	代表取締役	専務執行役員	最高財務責任者 (CFO)
鈴木 昭	取締役	専務執行役員	セーフティ&セキュリティ分野責任者
栗原 直一	取締役	常務執行役員	コーポレート部門担当
園田 剛男	取締役	常務執行役員	最高技術責任者 (CTO)、最高情報セキュリティ責任者 (CISO)
浜崎 祐司	社外取締役		
鬼塚 ひろみ	社外取締役		
平子 裕志	社外取締役		
今井 正樹	常勤監査役		
齊藤 勝美	社外監査役 (非常勤)		
栗原 克己	社外監査役 (非常勤)		
藤岡 哲哉	社外監査役 (非常勤)		
高田 伸一	常務執行役員	モビリティ&テレマティクスサービス分野	アフターマーケット事業部長
寺田 明彦	常務執行役員	中国総代表	
林 和喜	常務執行役員	経営企画部長	
村岡 治	執行役員	海外地域担当	
関谷 直樹	執行役員	国内マーケティング本部長	
岩崎 初彦	執行役員	エンタテインメント ソリューションズ分野責任者	
佐藤 勝也	執行役員	セーフティ&セキュリティ分野	無線システム事業部長
鎌田 浩彰	執行役員	モビリティ&テレマティクスサービス分野	テレマティクスサービス事業部長
原田 久和	執行役員	セーフティ&セキュリティ分野	ヘルスケア事業部長

詳細は当社ウェブサイト「経営体制」のページをご覧ください。
<https://www.jvckenwood.com/jp/corporate/management.html>



当社ウェブサイト、 統合報告書のご紹介

当社ウェブサイトでは、当社グループの会社情報、事業概要、ブランド戦略、IR情報、サステナビリティ、採用情報などがご覧いただけます。

また、JVCケンウッド統合報告書2023では、2022年度(2023年3月期)までの当社グループの強みや価値創造に向けたプロセスなどを振り返るとともに、新たに策定した中期経営計画「VISION2025」を中心に、当社グループが目指す姿や各事業分野の戦略、持続的社會への貢献に向けた取り組みを説明しています。



当社
ウェブサイト

ウェブサイトは
こちら



<https://www.jvckenwood.com>

JVCケンウッド
統合報告書
2023



<https://www.jvckenwood.com/jp/ir/library/annual.html>

株主様向け アンケート

よりよいIR活動のために 皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。（所要時間は5分程度です）

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示


 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード

.....以下の方法でもアンケートにアクセスできます.....


 検索窓から



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

 kabu@wjm.jp

↑こちらへ空メールを送信
「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

 スマートフォンから

カメラ機能でQRコード読み取り→
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com

【アンケート実施期間&抽選プレゼント】

期間：2023年12月1日(金)～2024年1月31日(水)

アンケートにご回答いただいた株主様の中から抽選で以下の当社製品をプレゼントいたします。

- ① Victor 完全ワイヤレスイヤホン「HA-NP50T」(色：セージグリーン) 15名様
- ② Victor ポータブルワイヤレススピーカー「SP-WS02BT」 15名様
- ③ KENWOOD 半導体式ガスセンサー搭載アルコール検知器「CAX-AD100」 10名様
- ④ KENWOOD 光触媒除菌消臭機「CAX-PH100」 10名様

注意事項

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

※プレゼントの写真はイメージです。また、都合により内容が変更となる場合がございます。

※ご回答いただいた内容は、統計情報およびプレゼントの発送のほか、株主様向けの活動充実のためにも使用させていただく場合がございます。

① 「HA-NP50T」



② 「SP-WS02BT」



③ 「CAX-AD100」



④ 「CAX-PH100」



詳細は当社ウェブサイト「株主様向けアンケート」のページをご覧ください。

<https://www.jvckenwood.com/jp/ir/investor/survey.html>



「中間株主通信」 郵送廃止のお知らせ

「中間株主通信」は、地球環境等に配慮した省資源化の観点から紙面による郵送を取り止め、次回より当社ウェブサイトのみでの掲載とさせていただきます。

お問い合わせ先 株式会社JVCケンウッド
企業コミュニケーション部 広報・IRグループ
住所：〒221-0022
神奈川県横浜市神奈川区守屋町
三丁目12番地
電話：045-444-5232 (直通)
Eメール：prir@jvckenwood.com
ウェブサイト：
<https://www.jvckenwood.com>



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
また、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。